

和歌山県教育委員会定例会会議録

- 日 時 令和3年5月27日（木）13:30～
- 場 所 教育委員会室
- 出席者 宮 崎 教育長
関 守 委 員
森 田 委 員
田 中 委 員
奥 山 委 員
大 谷 委 員
清 水 教育企画監
今 西 教育総務局長
川 嵩 学校教育局長
藁 科 総務課長
中 嶋 福利厚生室長
吉 田 教職員課長
宮 田 人権教育推進課長
田 中 生涯学習課長
吉 富 スポーツ課長
栗 生 文化遺産課長
深 野 県立学校教育課長
上 村 特別支援教育室長
木地尾 全国高総文祭推進室長
鍋 田 義務教育課長
青 石 教育支援課長
西 嶋 教育センター学びの丘所長
大 樫 紀南教育事務所長
岩 本 総務課副課長
平 秘書広報班長
竹 田 総務課副主査
明 利 総務課主事

1 開 会

○教育長 ただ今から、教育委員会 5 月定例会を開会する。

○教育長 本日の議題である、議案第6号「教育委員会所管令和3年度一般会計6月補正予算」については、議会の議決を経るべき案件であるため、その他の「令和4年度和歌山県立学校校長・教頭候補者選考試験実施要項について」及び「令和4年度和歌山県公立小・中学校及び義務教育学校管理職候補者選考試験の実施について」は公開することによって教育行政の公正、また円滑な運営に著しい支障を及ぼす恐れがあるため、非公開としたいが、よろしいか。

(異議なしの声)

○教育長 それでは、議案第6号、その他の2件については、非公開とする。については、議事進行上、非公開案件の審議を「諸報」終了後としたいが、よろしいか。

(異議なしの声)

2 前回会議録の承認

令和3年4月16日(金)の定例会会議録について、承認した。

3 付議事項

議案第4号

令和3年度教育委員会事務の点検及び評価報告書(令和2年度対象)について

○教育長 「令和3年度教育委員会事務の点検及び評価報告書(令和2年度対象)」について、説明願いたい。

○総務課長 先日の委員協議会で提出した報告書(案)からの変更点と、5月19日に開催された和歌山県教育委員会事務評価審議会でもいただいた意見等を添付している。

なお、田中委員から、委員協議会において、「進捗管理目標値が累計で示されているものは、令和2年度の実績だけでなく、累計も併せて示したほうがわかりやすいのではないか」と提案いただき、巻末63頁と66頁の当該指標について、累計を記載するよう変更した。

また、同委員からメールで2件提案いただいている。

1点目は、令和2年度の実績及び令和3年度の目標値が、令和4年度の最終目標値に遠く及ばない項目や、初年度からの進捗がみられにくい項目について、進捗を困難とさせている要因等、補足説明を記載することはできるか。また、最終年度が来年度に迫っている中で、いくつかの項目について、計画の最終目標値を少し意識して今年度の目標値を設定した方が良いのでは

ないか、という提案であった。補足説明については、一部、進捗管理目標の状況の欄外に補足説明を追記し、改善した。なお、最終目標を意識した今年度の目標設定については、これらの目標値は市町村の予算措置を必要とするものなど、市町村と協議の上、積み上げた目標値であること、また、現状の実績に照らして高い目標値を設定することが、現実的でなかったりする等の理由から、現状のままとして、目標達成に向け鋭意取り組んでいきたい。

2点目は、「豊かな心の育成に向けた道德教育の充実」に係る、進捗管理目標の状況の指標、「『いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う』と答える児童生徒の割合」について、令和3年度の目標を「100%」又は「100%」に近い数値にしてはどうか、という提案であった。当該意見は、昨年度の事務評価審議会においても、「いじめを許容する考えをなくしてほしい」と発言があったことを踏まえ、目標値を小学校・中学校とも100%に変更した。

今後は、完成版を教育委員及び評価審議会委員に送付するとともに、6月の県議会の初日に配付し、その後和歌山県教育委員会のホームページに掲載する予定である。審議をお願いしたい。

○**教育長** これについて、御意見、御質問等はないか。

○**田中委員** 評価が「×」のものや、目標値と実績値がかけ離れているものについては、その結果や数値だけを示すのではなく、それに関連した取組の実施状況や理由などを反映することで、この報告書を見た県民の方などにもなぜそうなっているか理解していただけるかと思い、提案させていただいた。

また、「『いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う』と答える児童生徒の割合」については、1人でもあってはいけないと思う。

目標値が95%であれば、残り5%の人はいても仕方ないと認めてしまうことになってしまう。やはり目標としては、こういった人が1人でもいなくなるようにと希望を持って提案させていただいた。

○**関守委員** これからの子供たちにとって、大きく環境が変わってくると思われるものの1つとして、教育の情報化の推進があり、大変期待できる場所である。

紀南地方に住んでいる身として、紀北地方との教育格差や、県立学校と私立学校との格差を痛烈に感じているところではあるが、ICTを効果的に活用した授業の推進が教育格差をなくす1つのきっかけになると思う。

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響で教育環境が急変したと感じている。オンデマンドによる授業動画の配信等によって学力面を補うなど、今後の県立高校においてもこれを積極的に取り入れることもいいことかと思う。また、高校に限らず特に小学校の複式学級においては、オンデマンドによる配信などは非常に効果的であるし、期待すると同時に「授業中にICTを活用して指導する能力がある」と回答する教員が増えてくると、子供たちや県にとってもよりよい教育が進められるのではないかと思う。

○**教育長** ICT を活用した授業動画等を取り入れている市町村の小学校、中学校の進捗状況は。

○**義務教育課長** 市町村によっては、独自に会社と契約し授業動画を見れるよう整備しているところもあるため、その実践を見ながらよいものは共有できればと思う。

○**関守委員** デジタルは一度導入してしまえば、それを修正しながら活用できるメリットもあるので、最初は大変かと思うが、それ以上のメリットがあると思う。

○**教育長** 県立高校では試作段階ではあるが、1000 本ほど動画を作成している。紀南地方の小中学校の進捗状況は。

○**紀南教育事務所長** 各市町村でインフラ整備の段階が異なる。例えば 1 つの教室でパソコンを 40 台使えるところもあれば、6、7 台しか使えないところもあるため、鋭意サポートしているところ。

○**教育長** それではよろしいか。

(異議なしの声)

議案第 5 号

和歌山県教育委員会情報セキュリティ対策基準規程の一部改正について

○**教育長** 「和歌山県教育委員会情報セキュリティ対策基準規程の一部改正」について、説明願いたい。

○**総務課長** 改正の理由については、県立学校に 1 人 1 台学習用端末が導入による情報セキュリティ対策の見直しと、校務系・学習系を問わずシステムの更改時において、クラウドサービスの利用を有効な選択肢として検討を進めていくためである。

改正の要点については、用語の定義の追加、教育情報システム担当者の変更、クラウドサービス利用による個人情報の漏洩の防止及び安全・信頼を確保することを追記・変更している。審議をお願いしたい。

○**教育長** それではよろしいか。

(異議なしの声)

4 諸 報

「行事予定」について、事務局より説明。

<主な日程>

- 6月8日(火) 6月議会開会
- 6月9日(水) 本会議
- 6月16日(水)～21日(月) 本会議
- 6月22日(火) 文教委員会
- 6月23日(水) 予備日
- 6月24日(木) 本会議
- 6月25日(金) 閉会
- 6月30日(水) 教育委員会 6月定例会

<非公開議案>

※議会の議決を経るべき議案について

※議案第6号

教育委員会所管 令和3年度一般会計6月補正予算について
総務課長から、「教育委員会所管 令和3年度一般会計6月補正予算」
について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

5 その他

令和4年度和歌山県立学校校長・教頭候補者選考試験実施要項について
教職員課長から、「令和4年度和歌山県立学校校長・教頭候補者選考試
験実施要項」について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

令和4年度和歌山県公立小・中学校及び義務教育学校管理職候補者選考試験
の実施について

義務教育課長から、「令和4年度和歌山県公立小・中学校及び義務教育
学校管理職候補者選考試験の実施について」について説明があり、審議
の結果、原案のとおり決定した。

6 閉 会

○教育長 これで、予定されていた議事が全て終了したので5月定例会を閉会
する。 (14:11閉会)